

平成28年度 事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1. 会議の開催

(1) 総会 平成28年5月23日(月) 鈴鹿高専 生物応用化学科・教室棟 第3合併講義室

参加者 46名

1) 議事

- ① 第1号議案 平成27年度事業報告について
- ② 第2号議案 平成27年度収支決算報告
について
監査報告
- ③ 第3号議案 平成28年度事業計画(案)
について
- ④ 第4号議案 平成28年度収支予算(案)
について



齊藤正美氏による基調講演

2) 基調講演 【演題】「高専の企業協力会の現状と将来展望」

【講師】 齊藤正美氏 (鈴鹿高専名誉教授・前米子高専校長)

3) 産学連携アラカルト

- ① 「周囲の力を利用する中小企業の技術経営」
澄野久生氏 (三重県中小企業診断協会 理事)
- ② 「海外研修体験から」 小川亜希子氏 (鈴鹿高専 生物応用化学科 講師)

4) 鈴鹿高専教員の研究紹介

- ① 「Web サーバ制御による普及型農作物収穫ロボットシステムの開発」
板谷年也氏 (鈴鹿高専 電子情報工学科 講師)
- ② 「微粒子ピーニングを利用した金属材料の高機能化とその特性評価」
南部紘一郎氏 (鈴鹿高専 機械工学科 助教)

終了後、懇親会を開催 青峰会館 参加者 30名

(2) 理事会

1) 第1回理事会 平成28年4月25日(月) イノベーション交流プラザ

教育プロジェクト企画推進室 出席者17名

- ① 高専教職員の会員企業への訪問による「出前講座」について
- ② 高専の知財教育、低学年の会員企業見学、高専生の留学への支援について
- ③ 今年度の事業実施について〔企業技術者対象の講習会、高専祭での会員企業展示、
会員の銘板作製、企業見学会など〕
- ④ 今年度の収支予算案について
- ⑤ 総会次第(案)および総会での配布資料〔通常総会議案書〕について

2) 第2回理事会 平成28年10月6日(木) 事務・教養棟 2階 会議室B 出席者18名

- ① 共同研究、技術相談の支援について(助成申請に対する支援の審議)
- ② 今後の活動について〔企業ガイドブック2016の作成、高専祭企業展示、高専祭学科展示作品の審査と鈴鹿高専テクノプラザ賞の表彰、学生への企業説明会、企業交流会など〕
- ③ グローバルエンジニアリングプログラムにおける国際インターンシップ(海外就労体

験)

受入れ機関の紹介について

- ④ 企業会員からの試作品の募集について
- ⑤ 会員増強の取り組みについて

2. 事業の実施

H28年度はこれまでの事業に加えて、新規に鈴鹿高専教員の「出前講座」を実施し、会員企業の技術向上に役立つ支援を行うとともに、高専教員と会員企業技術者との交流を図った。また、会員名を記載した銘板を作製して、学生や来校者の目に留まる事務・教養棟玄関ホールに設置し、本会と会員企業のPRならびに会員増強を図ることとした。

(1) 会員企業との共同研究等による研究協力の推進

1) 共同研究・受託研究への支援

共同研究2件と受託研究4件を支援した。(助成総額65.8万円)。

〔支援内容:会員企業からの共同/受託研究費(間接経費10%を含めた研究費)の20%を、担当の高専教職員に寄附金として助成する。但し、1件20万円を上限とする。〕

2) 会員企業の技術相談に関する助成

年間を通して2回に及ぶ相談2件を助成した。(助成総額2.7万円:@13,500円×2件)

〔支援内容:同様な内容の技術相談が1年以内に2回以上に及ぶ会員企業からの相談料は、2回目以降も無料とし、相談担当の高専教職員に寄付金として助成する。〕

(2) 会員企業間および高専との人的、情報交流の推進

企業交流会 平成28年11月14日(月)午後 鈴鹿高専 第3合併講義室

参加者29名]

- 1) 招待講演 【演題】「輸送機器の軽量化に資する材料開発の最前線」
【講師】金武直幸氏 (名古屋大学名誉教授)
- 2) 会員企業紹介 『我が社のイチ押し技術』 澤井岳彦氏 (エス・イー・アイ株式会社)
- 3) 鈴鹿高専教員の研究に関わる話題提供
 - ① 「ニッケル水素二次電池用電極材料の作製と光触媒の性能向上」
船越邦夫氏 (鈴鹿高専 生物応用化学科 准教授)
 - ② 「チタン合金の減衰能向上と材料評価法について」
万谷義和氏 (鈴鹿高専 材料工学科 准教授)

4) 高専祭 学科展示優秀作品の紹介



金武直幸氏による招待講演

高専祭 学科展示作品の紹介

終了後、懇親会を開催 青峰会館 参加者 21名

(3) 会員企業の技術向上に関する支援

1) 企業技術者対象の講習会

- ・開催日：平成28年9月2日（金）午後
- ・場所：鈴鹿高専 機械工学科棟 材料力学実験室
- ・テーマ名：
「機械材料の機械的性質と試験法について」
- ・講師：末次正寛氏（機械工学科 教授）
谷川義之氏（教育研究支援センター
技術専門職員）
- ・内容：引張試験と硬さ試験を行い、材料の強度とその機械的性質を学習する。
- ・参加者：4社から8名



企業技術者対象講習会（引張試験）

2) 会員企業見学会

- ・開催日：平成28年9月27日（火）
午後
- ・見学先：ナブテスコ株式会社 津工場
- ・参加者：17名



ナブテスコ株式会社 津工場にて

3) 鈴鹿高専教員の企業訪問による『出前講座』

2社から3件の申込みがあり、依頼企業の講師謝金負担により実施した。

- ・環境に関する講演（全従業員を対象としたISO環境教育）
- ・生産技術、製品設計スタッフのための機械要素基礎の講義
- ・製品設計・開発のための材料力学の講義

4) 講演会

<鈴鹿高専の事業との連携による講演会>

① 平成27年度 校長裁量経費採択者の研究成果報告会

- ・平成28年7月27日（水）午後 第3合併講義室にて開催
- ・参加会員が興味を持ったテーマについては、別途講演者との懇談の機会を設けた。

<鈴鹿高専、SUZUKA 産学官交流会との合同企画による講演会>

② 第1回鈴鹿高専RT（ロボットテクノロジー）・機械・材料サロン

『富士電機(株)鈴鹿工場パワエレテクニカルセンター見学会』

- ・平成28年11月16日（水）午前

③ 第2回鈴鹿高専RT・機械・材料サロン

- ・平成28年12月15日（木）16:30～18:30 出席者25名

- ・演題Ⅰ「チタン製品の可能性について」

講師：細川寿二氏（株式会社オーファ 代表取締役）

- ・演題Ⅱ「チタン合金の高機能化に向けた合金組織設計」

講師：万谷義和氏（鈴鹿高専 材料工学科 准教授）

④ 鈴鹿高専RT・材料・機械フォーラム+産学官金融連携

『ロボット化産業によるビジネスの可能性』

- ・平成29年3月2日（木）14:00～16:50 出席者52名

- ・演題Ⅰ「生活とサービス領域のロボットビジネス成功の鍵」

講師：石黒周氏（千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター 副所長）

- ・演題Ⅱ「ロボットエンジニアの育成 鈴鹿高専の取り組み」

講師：田添丈博氏（鈴鹿高専 電子情報工学科 教授）

- ・演題Ⅲ「三重県の経済情勢等について」

講師：尾崎俊介氏（株式会社 第三銀行経済研究所 所長）

<他機関との協賛に関わる講演会>

⑤ 「バイオフィウリング、バイオフィルム評価分析解析研究」フォーラム 第1回講演会

- ・平成28年6月29日（水）14:00～17:00

- ・日本鉄鋼協会 評価・分析・解析部会主催の講演会の協賛

5) メールによる会員企業向けの情報提供

- ・航空業界 News [航空宇宙人材育成/新規参入支援 CD川合勝義氏からの配信]

- ・ 三重県工業研究所の研究会案内
- ・ 三重県産業支援センターのAMICセミナー、みえ中小企業の元気づくりマガジン
- ・ 三重県雇用経済部からの各種イベント案内、海外情報メールマガジン
- ・ 経済産業省 中部経済産業局や公益財団法人中部科学技術センターからのイベント情報やメールマガジン
- ・ 日本機械学会や日本溶射学会中部支部等の学会主催の講演会・講習会の案内
- ・ 大学技術移転協議会事務局からの情報提供
- ・ (一社)生産技術振興協会からのイベント情報提供と季刊誌「生産と技術」の紹介

(4) 人材確保の支援、会員企業PR

1) 「企業ガイドブック2016」の作成と就職希望学生への配布

- ・ 平成28年11月9日(水)
- ・ 企業会員51社の企業紹介を印刷・製本して、4年生と専攻科1年生の就職希望学生に配布するとともに、鈴鹿高専教職員、会員に配布して、会員企業を紹介した。
(58ページ/部、250部)

2) 合同企業説明会での会員企業紹介

- ・ 平成28年11月9日(水) 13:00~16:00
- ・ 4年生及び専攻科1年生の就職希望学生を対象に、会員企業20社が参加した。
- ・ 大講義室にて30分間の就職に関するガイダンスの後、企業毎にブースが設定された体育館にて、20分毎の学生入替制により、業界説明や企業紹介の個別説明会を行った。



企業ガイドブック2016の発行



大講義室での就職に関するガイダンス



体育館でのブース形式による会社説明

3) 高専祭での会員企業展示

- ・平成28年10月15日(土)・16日(日) 9:00~16:30 生物応用化学科・教室棟
- ・企業会員51社の企業ガイドブック原稿および7社の企業HP記載内容の要約版をA2サイズの大きさに衝立に貼って紹介した。
- ・追加展示(自社製品やその製造過程による一押し技術の紹介)には6社が出展した。
- ・来客者数: 15日(土) 午前 53名、 午後 127名
16日(日) 午前 188名、 午後 203名
- ・高専祭実行委員会が作成配布するパンフレットに、鈴鹿高専テクノプラザの紹介原稿(2頁)を掲載し、PRと共に実行委員会の活動を支援した。
- ・同パンフレットに別途掲載で自社の紹介を希望する会員企業募集に協力し、実行委員会では11社から協賛金を頂いた。



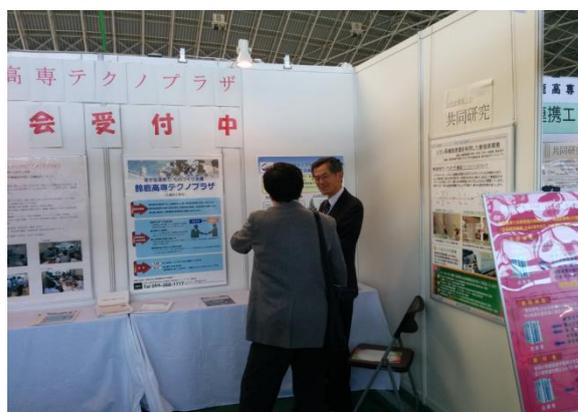
会員企業の紹介展示



会員企業の個別展示

4) リーディング産業展での活動紹介

- ・平成28年11月11日(金)・12日(土) 10:00~16:00 四日市ドーム
- ・鈴鹿高専テクノプラザの事業内容の紹介、会員企業の紹介、研究に関わる協働事業の実施例の紹介など、パネル展示によりPRを行った。



鈴鹿高専テクノプラザのブースにおける
取組事例の紹介



鈴鹿高専の産学官連携ブースに
おける研究機器の紹介

5) 銘板の作製と設置

- ・ 鈴鹿高専を支援頂く企業会員、特別会員、個人会員を来校者に紹介するとともに、会員増強を図ることを目的として、会員名を記載した壁面設置型銘板を作製した。
- ・ 校内で来校者が最も多く訪ねる事務・教養棟1階玄関ホールに設置し、除幕式を総会当日に開催する予定である。



玄関ロビー正面の壁面右側に設置された銘板



(5) 高専の教育、国際交流の充実、および学生との交流の促進

1) 高専の技術者教育

① Noorani 教授によるエンジニアリングデザイン教育に関する講演

- ・ 平成28年5月31日(火) 13:00~14:00
- ・ 講演題目:「ロボット教育研究への学際的なアプローチ」
- ・ 専攻科学生以外に鳥羽商船の専攻科学生もテレビ会議システムにて聴講するとともに、鈴鹿高専テクノプラザ会員に案内した。

② Dana Barry 教授による専攻科学生向け講演会の実施

- ・ 平成28年6月28日(火) 13:00~14:00
- ・ 講演題目:「科学技術と音楽」
- ・ 鈴鹿高専テクノプラザ会員および鈴鹿高専教職員の参加を募った。

2) 高専祭学科展示作品の審査と優秀作品の表彰

- ・ 平成28年10月15日(土)・16日(日)
- ・ 創造工学活動に努力して取組み、創意工夫して観客を魅了する優れた各学科推薦の作品の中から優秀賞3件を選び、表彰した。



高専祭閉会式での表彰状の授与

3) 高専シンポジウム事業支援

- ・全国の高専および豊橋・長岡の両技術科学大学の教員と学生が集う全国大会「高専シンポジウム in Mie」が、鈴鹿・鳥羽商船高専を主催校として開催され、プログラム冊子に鈴鹿高専テクノプラザの広告を掲載することにより、支援を行った。

(平成 29 年 1 月 28 日 (土) 鳥羽商船高専にて開催 参加者 714 名)

3. 会員企業への就職学生数について

- ・平成 25 年度： 会員企業 7 社に 11 名
(機械工学科：2 名、電子情報工学科：2 名、生物応用化学科：3 名、材料工学科：4 名)
- ・平成 26 年度： 会員企業 6 社に 7 名
(電気電子工学科：1 名、生物応用化学科：2 名、材料工学科：4 名)
- ・平成 27 年度： 会員企業 4 社に 10 名
(機械工学科：1 名、電気電子工学科：2 名、生物応用化学科：3 名、材料工学科：3 名、電子機械工学専攻：1 名)
- ・平成 28 年度： 会員企業 9 社に 17 名
(機械工学科：4 名、電気電子工学科：2 名、電子情報工学科：1 名、生物応用化学科：2 名、材料工学科：8 名)

4. 会員数の推移について

	企業会員	個人会員	特別会員	退会企業
H25 年 設立総会(3 月)	27 社	2 名	2 団体	—
H26 年度 総会(5 月末)	47	4	8	8
H27 年度 総会(5 月末)	50	4	9	1
H28 年度 総会(5 月末)	58	6	10	3
H29 年度 総会(5 月中旬)	63	6	11	1

以上